




<b>令和4年度 基本評価調書①</b>		所管部局	農政部	所管課	食品政策課		
施策名	高付加価値農業の推進			施策コード	0605		
政策体系(中項目)	農林水産業の持続的な成長			政策体系コード	2(1)A		
関連重点戦略計画等	知事公約、創生総合戦略、強靱化計画、地球温暖化対策推進計画					事務事業数	8
SDGs	  	総合判定		やや遅れている			
予算額(千円)	R 4	2,580,600	R 3	2,191,533	R 2	2,516,946	

施策目標	地域資源を活かした6次産業化、環境と調和した持続可能な生産活動の推進に向けたクリーン農業や有機農業の取組拡大など、国内外の食市場を取り込む付加価値の高い農業の推進に取り組む。					
現状と課題	持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けて、環境に配慮した農業生産が求められている。また、農業経営をとりまく環境が厳しさを増す中、農業・農村の所得の確保や雇用の安定に向けて、6次産業化などの地域の食資源の活用、農林水産物・加工食品の販路拡大への関心が高まっている。					
前年度二次評価意見	食の輸出拡大戦略推進本部により連携し、道産食品の国際競争力強化の取組の一層の推進を検討すること。国内外の食市場を取り込む付加価値の高い農業の推進を図るため、地域資源を活かした6次産業化や環境と調和した持続可能な生産活動の展開に向けたクリーン農業や有機農業の取組の一層の推進を検討すること。	対応状況 (R4.3時点)	販路開拓に取り組むことにより取引実績の増加につなげていく。経済部や水産林務部と連携しながら事業内容を広く周知し認知度の向上を図る。6次産業化の取組(年間販売金額)は引き続き「北海道6次産業化サポートセンター」の機能を活かし6次産業化に取り組む農林漁業者等の経営改善に向けて支援する。クリーン農業や有機農業に対する消費者の理解醸成と消費拡大を図る。			

	今年度の取組	実績と成果
主な取組	相談・支援体制の整備など6次産業化の取組を支援する。また、クリーン農業の推進に向けて、地域条件に即した技術指導、YES!clean表示制度の普及啓発などを実施するとともに、有機農業の普及及び販路拡大の推進に向けて普及指導員による技術支援、有機農業への「転換の手引き」の作成・配布などを実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道6次産業化サポートセンターを設置し、各種相談に対応し農林漁業者の経営改善を支援。[相談対応(延べ数)R2:531件、R3:214件/専門家による現地指導R2:56回R3:55回]</li> <li>経済部や水産林務部と連携し、海外現地企業の協力を得て商談会の回数を増やしPRを強化。[R2:4回(中国3回、仏国1回)R3:10回(中国8回、仏国1回、タイ1回)]</li> <li>北海道クリーン農業推進協議会実施の出前講座やイベントの支援によりクリーン農業への理解醸成が促進された。[北海道大谷室蘭高等学校における「出前授業」(R3.7)、クリーン農業・地産地消PR展(R3.9)]</li> </ul>

連携状況	6次産業化の推進を図るため、「北海道6次産業化・地産地消推進協議会」を1回開催し、協議会を組織する農林漁業者や商工業者、金融機関、国等の関係行政機関などの関係者と情報や課題を共有するなど連携強化を図っている。なお、効果の確認のため、北海道食の安全・安心計画に定める指標の達成状況等を聞き取り、それぞれの達成状況の分析を依頼、「北海道食の安全・安心委員会」で報告を行っている。
緊急性優先性	国に対し、大きな需要が見込まれる中国など輸出相手国における輸入条件の緩和に向けた国家間交渉の推進や、予算確保などの要望を実施している。 また、輸出に積極的に取り組んでいる生産者、生産者団体、貿易会社等を訪問し、輸出の実績や、輸出相手国の規制やニーズへの対応、流通網の構築などの課題等の聞き取りを実施し、課題等の解決に向け必要な取組の効果的な推進を図った。

<b>令和4年度 基本評価調書②</b>	<b>施策名</b>	高付加価値農業の推進	<b>施策コード</b>	0605
----------------------	------------	------------	--------------	------

〈成果指標の達成状況〉 ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載

指標名①	増加	億円	H30年度	R元年度	R2年度	最終目標(R5)	達成率	指標判定
6次産業化の取組 (年間販売金額)		目標値	2,232	2,259	2,287	2,370	90.9%	B
		実績値	2,189	2,157	2,078			
<b>設定理由</b>	6次産業化の取組による年間販売金額。地方創生総合戦略に基づき、6次産業化を推進する取組の進捗状況を測る指標として設定。							
<b>分析（主な取組と成果）</b>								
「北海道6次産業化サポートセンター」を設置・運営し、6次産業化に取り組む農林漁業者等の経営改善を支援。コロナ禍により漁業全般、観光農園、農家民宿及び農家レストランの販売額は減少したものの、一方で農産加工は増加しており、概ね計画どおりに推移した。								

指標名②	増加	億円	H30年	R元年	R2年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
道産食品輸出額（暦年）		目標値	1,500	1,500	1,500	1,500	61.8%	D
		実績値	1,182	1,043	927			
<b>設定理由</b>	道内港を通じ海外へ輸出された道産食品の通関額及び道外港を通じ輸出された道産食品の通関額の推計値を、経済部と共有する指標として設定。							
<b>分析（主な取組と成果）</b>								
農畜産物については、北海道・ホクレン・ぎよれん等で構成する「北海道農畜産物・水産物輸出推進協議会」にて連携し、輸出EXPO（R3.11.17～19）への出展等により効果的なPRなどを行った。道産食品全体の輸出額は前年比11.1%減となった。主要要因としては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による外食需要の減少に伴い、輸出単価が低下し、主要輸出先である中国への輸出額が減少したことが挙げられる。								

指標名③			R2年度	R3年度	R4年度	最終目標()	達成率	指標判定
		目標値					-	-
		実績値						
<b>設定理由</b>								
<b>分析（主な取組と成果）</b>								

**【総合判定】**

<b>連携状況</b>	○	<b>緊急性優先性</b>	○	<b>指標判定</b>	C	<b>総合判定</b>	やや遅れている
-------------	---	---------------	---	-------------	---	-------------	---------

翌年度に向けた 対応方針	対応方針番号	内容
	①	道産食品輸出額減少の要因は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に起因する主要輸出先である中国への輸出額減少と考えられることから、食の輸出拡大戦略推進本部にて連携し、海外現地企業の協力を得ながら、ブランド力を高める情報発信や、商談会を中心としたプロモーション、ECサイトを活用した販売支援を一層強化することにより、新規商流の確立を目指す。
	②	
	③	

令和4年度 基本評価調書③	施策名	高付加価値農業の推進	施策コード	0605
---------------	-----	------------	-------	------

<二次政策評価>

R4年度 二次政策 評価	【施策目標の達成状況】 総合計画に掲げる、潜在力のフル発揮で地域の経済・社会を支える農業・農村づくりのため、国内外の食市場を取り込む付加価値の高い農業の推進が重要であり、総合計画の政策目標の実現に向け、取組の一層の推進を検討すること。
--------------------	--

<b>令和4年度 事務事業評価調書</b>	施策名 <b>高付加価値農業の推進</b>	施策コード	<b>0605</b>
-----------------------	-----------------------	-------	-------------

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	令和4年度						令和4年度			
						前年度からの繰越事業費(千円)	事業費(千円)	うち一般財源	執行体制			フルコスト(千円)	一次政策評価		二次政策評価意見
									本庁	出先機関	人工計		対応方針番号	方向性	
0301	0610	一般	道産農畜産物輸出総合対策事業費	・輸出に取り組もうとする産地への支援や、生産者団体との合同PR、品目別のテスト輸出など、総合的な取組を実施	食品政策課		1,139,867	20,570	4.5	2.0	6.5	1,190,463	①	改善(指標分析)	【施策目標の達成状況・事務事業の有効性】 ※基本評価調書③〈二次政策評価〉参照
	0606	一般	東京2020オリンピック食と花のおもてなし事業費	・東京2020オリンピック競技大会の札幌開催において、道内の企業や各市町村・団体等と連携して、来道する多くのメディアや海外観光客、道外観光客に「新北海道スタイル」で安全・安心に食と花でおもてなし	食品政策課		0	0	0.0	0.0	0.0	0			
0305		一般	6次産業化ネットワークづくり支援事業費	・農林業者等と多様な事業者が連携して取り組む6次産業化を推進するため、地域におけるネットワークづくりを推進	食品政策課		574	574	0.3	0.2	0.5	4,466			
0306		一般	6次産業化サポート事業費	・6次産業化に取り組もうとする農林漁業者等を対象とした個別相談を実施する「北海道6次産業化サポートセンター」を設置・運営	食品政策課		39,413	0	0.8	0.2	1.0	47,197			
0307		一般	農山漁村振興交付金事業	・6次産業化法により認定された農林漁業者等が多様なネットワークを構築し、融資を活用して取り組む加工・販売施設等の整備を支援	食品政策課		285,439	64	0.8	1.8	2.6	305,677			
0308		一般	持続可能な農を支えるクリーン農業促進事業費	・クリーン農業の一層の普及拡大を図るため、消費者理解や生産者への啓発を促進するとともに、地域条件に即した栽培技術指導により安定生産を拡大するほか、北海道クリーン農業推進協議会が実施するYES!clean表示制度の効果的な展開に向けた取組を支援	食品政策課		17,723	2,723	1.0	1.0	2.0	33,291			
0309		一般	オーガニック農業普及・販路拡大推進事業費	・北海道における有機農業の拡大を図るため、有機農業技術の普及促進や新規参入、販路拡大や理解醸成等に向けた取組を実施	食品政策課		21,304	1,210	1.0	1.0	2.0	36,872			
0315		一般	環境保全型農業直接支援対策事業費	・環境保全型農業の取組拡大・定着を図るため、農業者の組織する団体等が実施する化学肥料・化学合成農薬の低減と環境保全効果の高い営農活動の取組を支援	食品政策課		1,076,280	350,000	1.0	2.0	3.0	1,099,632			【事務事業のコスト】 国に対し、地方負担が生じないよう、国負担のみで実施可能な制度とするよう強く要望すること。
0317	0603 0610	一般	食品政策課総合調整等業務	・道議会事務、予算・決算事務、職員の服務・研修などの事務	食品政策課				1.9	3.5	5.4	42,034			
<b>計</b>							0	2,580,600	375,141	11.3	11.7	23.0			